

1 普及活動 Educational Activities

1-1 資料の収集及び図書室の公開 Art Libraries and Other Reference Materials

図書に関しては、近現代の美術工芸を対象とする基本的な書目の収集と整理を継続して行い、本年度は下記の冊数を新規に受け入れし、あわせて遡及入力を行った。

当館で催す展覧会会場の写真撮影、焼付写真の整理、および館外の展覧会カタログ等刊行物の収集が継続的に行われていることは、従来通り変わりはない。

平成14年1月16日に開室した美術館のアートライブラリは、平成15年1月11日より土曜日も開室して、サービスの拡大につとめており、工芸館においても、平成14年4月2日より図書閲覧室を、火～金曜日の午後開室している。

平成15年1月10日、OPAC (Online Public Access Catalog) をインターネットに公開したが³ (<http://www.momat.go.jp/opac.html>)、さらに平成16年3月1日、東京都現代美術館美術図書室、横浜美術館美術図書室のOPACとの間に横断検索 (<http://alc.opac.jp>) を可能にした。

開催企画展に関連する図書、カタログを紹介するコーナーを設けるとともに、資料リストをホームページに掲載している。アートライブラリのページでは、「国内美術館所蔵品目録一覧」「美術雑誌 巻号タイトル(特集名)/目次一覧」「美的工具書(美術文献の探し方)」および月次更新の「新着図書」掲載するなどして、資料紹介につとめている (<http://www.momat.go.jp/library.html>)。

美術館3階に情報コーナーを設けて、来館者システムの端末を3台設置するとともに、近年開催の当館展覧会カタログおよび所蔵品目録ほか参考図書の閲覧の便を図っているのは昨年通り変わらない。

なお、美術館情報システムの整備事業(「平成15年度美術館情報システムによる普及・広報」p.103参照)に伴い、平成8年7月17日付けで学術情報センター目録所在情報サービス(NACSIS-CAT)の第462番目の参加機関となっている。

[本館]

	購入	寄贈	遡及入力	計(平成16年3月31日時点総数)	
和図書	370	378	674	1,422	(19,756冊)
洋図書	130	68	533	731	(7,943冊)
国内展覧会カタログ	18	906	1,490	2,414	(36,123冊)
海外展覧会カタログ	40	307	492	839	(23,520冊)
和雑誌					(2,434誌)
洋雑誌					(725誌)
アートライブラリ開室日数	平成15年4月1日-平成16年3月31日			228日	

[工芸館]

	購入	寄贈	遡及入力	計(平成16年3月31日時点総数)	
和図書	96	170	177	443	(4,173冊)
洋図書	7	16	18	41	(492冊)
国内展覧会カタログ	0	334	2,558	2,892	(6,138冊)
海外展覧会カタログ	4	36	164	204	(272冊)
和雑誌					(571誌)
洋雑誌					(56誌)

工芸館図書閲覧室開室日数 平成15年4月1日-平成16年3月31日 174日

1-2 児童生徒を対象とした事業

1-2-1 本館

■学校等の団体での来館者に対し、ギャラリートークやガイダンス、職場見学などの対応を随時行った。大学生に関しては「大学等との連携」を参照のこと。

合計9件(386名)

小学校7件(246名)、中学校10件(83名)、高校2件(57名)

■美術鑑賞教育に関する研修を目的とし、小中高校教員及び教育関係者の研究会等へ協力した(講演、展示解説等)。

合計5件

八千代市教育委員会、東京都版画工作研究会、練馬区小学校教育会版画工作部、文京区小学校教育普及研究会版画工作部、東京都高等学校美術工芸教育普及研究会

■ホームページ上の「こどものページ」の内容の充実を図り、当館の主な作品の図版、見方のヒントなどを掲載。児童生徒が感想の書込みを行える仕組みとした。

■ボランティアによる小中学生向けプログラムを行った。

・「夏休み!こども美術館」として、夏休みの期間中、ボランティアのガイドスタッフによる、ギャラリートーク(所蔵作品解説)及びワーク(所蔵作品解説と連動した制作実習)を行った。

日時:8月8日(土)、9日(土)、10日(土)、午前・午後の各2回ずつ(3日、計6回)

場所:所蔵品ギャラリー、エントランスホール

参加者:18グループ(小学生93名、中学生45名、計138名)

・「春休み!こども美術館」として、春休みの期間中、ボランティアのガイドスタッフによる、ギャラリートーク(所蔵作品解説)を行った。

日時:3月26日(金)、27日(土)、28日(日)、午前・午後の各2回ずつ(3日、計6回)

場所:所蔵品ギャラリー

参加者:18グループ(小学生17名、中学生26名、計43名)

■「国吉康雄展」に伴い、展覧会会期中(3月23日-5月16日)、下記のプログラムを行った。

・国吉康雄展「こどもセルフガイド」の制作及び無料配布

・「こどもアートミュージアム」として、国吉康雄展「こどもアートサイト」をホームページ上に制作。セルフガイドで紹介した作品をホームページに掲載し、子どもが感想を書き込んだり、他の子どもの感想を読んだりできる仕組みとした。子どもの感想の投稿:113件

・エントランスホールに、掲示板「こどもアートミュージアム・ボード」を設置し、「こどもアートサイト」と「こどもセルフガイド」に書いてもらった感想文を随時貼り出し、来館者に紹介した。



1-2-2 工芸館

■学校等の団体 およびグループでの来館者に対し、ギャラリートークや校外学習の補助、職場見学などの対応を随時行った。大学生に関しては「大学等との連携」を参照のこと。

合計2件(12人)

中学校2件(12人)

■美術鑑賞教育に関する研修を目的とし、高等学校教員の研究会へ協力した(展示解説)。

高等学校教員の研究会1件(25人)

■「三代藍堂 宮田宏平展—金蔵造形の先駆け」に関連して、児童生徒を対象としたワークシート「三代らんどう・ゆびわ物語」を作成し、作品鑑賞のポイント、素材・技法の特性などを写真を多用しながらわかりやすく解説した。

■所蔵作品展「近代工芸の名品—花」に関連して、児童生徒を対象としたワークショップ(「〈花〉を染める」)を開催した。

■平成16年度から始まる工芸館ガイドスタッフによる〈タッチ&トーク〉の導入に伴い、児童生徒を対象としたプログラムの検討、準備を進めた。

1-3 講演会・シンポジウム・ギャラリートーク

1-3-1 本館

◆「青木繁と近代日本のロマンティズム」展講演会

日時:4月12日(土) 午後2時から午後3時

講師:市川政憲(愛知県美術館館長)

聴講者数:83名

「青木繁の生涯と芸術」

日時:4月19日(土) 午後2時から午後3時

講師:植野健造(石橋財団石橋美術館学芸課長)

聴講者数:152名

「描かれた女性たち—青木繁と福田たねを中心に」

日時:4月26日(土) 午後2時から午後3時

講師:蔵屋美香(企画課主任研究官)

聴講者数:138名

◆「牛腸茂雄展」ギャラリートーク

日時:6月20日(金) 午後6時から午後7時

講師:三浦和人(写真家)×大日方欣一(写真研究者)

聴講者数:78名

日時:7月11日(金) 午後6時から午後6時40分

講師:増田玲(美術課主任研究官)

聴講者数:79名

◆「地平線の夢—昭和10年代の幻想絵画」展講演会

日時:6月7日(土) 午後2時から午後3時

講師:大谷省吾(美術課研究員)

聴講者数:63名

◆「地平線の夢—昭和10年代の幻想絵画」展ギャラリートーク

日時:7月5日(土) 午後2時から午後3時

講師:大谷省吾(美術課研究員)

聴講者数:41名

◆「野見山暁治展」講演会

「野見山暁治一人と作品」

日時:8月16日(土) 午後2時から午後3時

講師:都築千重子(美術課主任研究官)

聴講者数:90名

「自作を語る」

日時:9月6日(土) 午後2時から午後3時

講師:野見山暁治(出品作家)

聴講者数:225名

「自作を語る」

日時：9月19日(金) 午後2時から午後3時

講師：野見山暁治(出品作家)

聴講者数：175名

◆「旅—『ここではないどこか』を生きるための10のレッスン」展講演会

日時：11月1日(土) 午後1時から午後2時

講師：エリック・ファン・リースハウト(出品作家)

聴講者数：33名

「読書と旅について」

日時：11月13日(木) 午後2時30分から午後3時30分

講師：堀江敏幸(作家、仏文学者)

聴講者数：66名

日時：12月6日(土) 午後1時から午後2時

講師：雄川 愛(出品作家) + 蔵屋美香(企画課主任研究官)

聴講者数：43名

パフォーマンス「最後の旅」+講演会「旅…最後のリバティ・パスポート」

日時：12月7日(日) 午後1時45分から午後4時

パフォーマンス：松澤宥(アーティスト)

講師：巖谷國士(紀行作家)

聴講者数：118名

◆「旅—『ここではないどこか』を生きるための10のレッスン」展ギャラリートーク

日時：10月28日(火) 午後1時から午後2時

講師：大岩オスカル幸男(出品作家)

聴講者数：62名

「展覧会企画者によるギャラリートーク」

日時：11月20日(木) 午後6時から午後7時

講師：蔵屋美香(企画課主任研究官)

聴講者数：9名

「展覧会企画者によるギャラリートーク」

日時：11月21日(金) 午後6時から午後7時

講師：蔵屋美香(企画課主任研究官)

聴講者数：67名

日時：12月12日(金) 午後6時から午後7時

講師：渡辺 剛(出品作家) + 蔵屋美香(企画課主任研究官)

聴講者数：86名

◆「ヨハネス・イッテン—造形芸術への道」展講演会

「ヨハネス・イッテン—わか国ではじめての紹介とその造形探求」

日時：1月24日(土) 午後2時から午後3時

講師：山野英嗣(京都国立近代美術館主任研究官)

聴講者数：85名

「20世紀初頭の美学—イッテンの形・色・音をめぐって」
日時:2月14日(土) 午後2時から午後3時
講師:高橋 巖(美学者)
聴講者数:154名

◆「国吉康雄展」講演会

「国吉康雄の歩んだ道」
日時:3月27日(土) 午後2時から午後3時
講師:トム・ウルフ(ハーバード・カレッジ教授)
聴講者数:52名

◆講演会 所蔵作品をめぐって

「《花ひらく木をめぐる抽象》—パウル・クレアの反復の芸術—」
日時:9月23日(火) 午後2時から午後4時
講師:ヴォルフガング・ケルステン(チューリヒ大学講師)
聴講者数:122名

◆所蔵作品展「近代日本の美術」研究員によるハイライトツアー

日時:1月4日(日) 午前1時から午前11時50分
講師:保坂健二郎(企画課研究員)
聴講者数:40名

日時:2月1日(日) 午前1時から午前11時50分
講師:都築千重子(美術課主任研究員)
聴講者数:20名

日時:3月7日(日) 午前1時から午前11時50分
講師:古田亮(美術課主任研究員)
聴講者数:15名

◆所蔵作品展「近代日本の美術」研究員によるフライデートーク

「昭和戦前期の日本画—伝統への回帰」
日時:1月30日(金) 午後6時から午後6時35分
講師:中村麗子(美術課研究員)
聴講者数:10名

「多様化する版画」

日時:2月20日(金) 午後6時から午後6時50分
講師:都築千重子(美術課主任研究員)
聴講者数:16名

「彫刻家の眼と手—素描と彫刻」

日時:3月26日(金) 午後6時から午後6時45分
講師:中林和雄(美術課長)
聴講者数:10名

◆所蔵作品展「近代日本の美術」研究員による所蔵品ガイド

「美術と音楽」
日時:8月2日(土) 午後2時30分から(約60分)
講師:古田亮(美術課主任研究員)
聴講者数:33名

「写真の中の人間像・群衆」
日時：10月11日(土) 午後2時30分から(約60分)
講師：増田 玲 (美術課主任研究官)
聴講者数：29名

「版の世界—その多様な展開」
日時：1月10日(土) 午後2時から(約60分)
講師：都築千重子 (美術課主任研究官)
聴講者数：29名

「戸張孤雁の彫刻」
日時：3月6日(土) 午後2時から(約60分)
講師：大谷省吾 (美術課研究員)
聴講者数：28名

1-3-2 工芸館

◆「今日の人形芸術—想念の造形」展 対談・座談会ほか

「詩の朗読と音楽」
日時：平成15年4月5日(土) 午後2時から(約90分)
講師：結城美栄子 (出品作家)
聴講者数：140名

「対談」
日時：平成15年4月20日(日) 午後2時から(約80分)
講師：四谷シモン (出品作家)、金子賢治 (工芸課長)
聴講者数：195名

◆「今日の人形芸術—想念の造形」展 ギャラリートーク

「TVと舞台の人形美術～プリンプリン物語」
日時：平成15年4月12日(土) 午後2時から(約90分)
講師：友永詔三 (出品作家)
聴講者数：103名

日時：平成15年4月26日(土) 午後2時から(約60分)
講師：芹川英子 (出品作家)
聴講者数：94名

日時：平成15年5月3日(土) 午後2時から(約60分)
講師：林 駒夫 (出品作家)
聴講者数：90名

日時：平成15年5月10日(土) 午後2時から(約60分)
講師：岩瀬なほみ (出品作家)
聴講者数：60名

◆「オーストラリア現代工芸3人展：未知のかたちを求めて」、同時開催「近代工芸の名作—友禅と型染」展 ギャラリートーク

日時：平成15年5月30日(金) 午後3時から(約50分)
講師：ジャンス・ラリー (展覧会企画者)
聴講者数：20名

日時：平成15年5月31日(土)午後2時から(約40分)
講師：ロビン・ベスト(出品作家)
聴講者数：6名

「近代の友禪と型染」

日時：平成15年6月7日(金)午後2時から(約60分)
講師：今井陽子(工芸課研究員)
聴講者数：24名

「オーストラリア現代工芸3人展」

日時：平成15年6月14日(土)午後2時から(約60分)
講師：木田拓也(工芸課研究員)
聴講者数：7名

「近代工芸の名品」

日時：平成15年6月21日(土)午後2時から(約60分)
講師：唐澤昌宏(工芸課主任研究員)
聴講者数：2名

◆「三代藍堂 宮田宏平展—金属造形の先駆(け)—」、同時開催「近代日本の工芸—戦後の金工」展 ギャラリートーク

日時：平成15年7月8日(火)午後2時から(約70分)
講師：三代藍堂 宮田宏平(出品作家)
聴講者数：72名

日時：平成15年7月19日(土)午後2時から(約70分)
講師：樋田豊次郎(京都工芸繊維大学助教授)
聴講者数：40名

日時：平成15年7月25日(金)午後2時から(約80分)
講師：三代藍堂 宮田宏平(出品作家)
聴講者数：55名

日時：平成15年7月26日(土)午後2時から(約60分)
講師：富田康子(工芸課客員研究員)
聴講者数：7名

日時：平成15年8月2日(土)午後2時から(約60分)
講師：木田拓也(工芸課研究員)
聴講者数：11名

日時：平成15年8月16日(土)午後2時から(約60分)
講師：北村仁美(工芸課研究員)
聴講者数：15名

日時：平成15年8月29日(金)午後2時から(約80分)
講師：三代藍堂 宮田宏平(出品作家)
聴講者数：73名

日時：平成15年8月30日(土)午後2時から(約60分)
講師：小見秀男(新潟県立近代美術館学芸課長)
聴講者数：26名

◆「現代の木工家具—スローライフの空間とデザイン」展 作家座談会

日時：平成15年9月20日(土) 午後2時から(約90分)

講師：早川謙之輔・小島伸吾・高橋三太郎・須田賢治(出品作家)、
諸山正則(工芸課主任研究官)

聴講者数：80名

◆「現代の木工家具—スローライフの空間とデザイン」展 ギャラリートーク

日時：平成15年10月4日(土) 午後2時から(約70分)

講師：早川謙之輔(出品作家)

聴講者数：115名

日時：平成15年10月18日(土) 午後2時から(約60分)

講師：諸山正則(工芸課主任研究官)

聴講者数：47名

日時：平成15年10月25日(土) 午後2時から(約70分)

講師：中村好文(出品作家)

聴講者数：134名

日時：平成15年11月1日(土) 午後2時から(約70分)

講師：高橋三太郎(出品作家)

聴講者数：83名

日時：平成15年11月15日(土) 午後2時から(約60分)

講師：唐澤昌宏(工芸課主任研究官)

聴講者数：37名

◆「あかり：イサム・ノグチが作った光の彫刻」展 ギャラリートーク

「彫刻としてのあかり」

日時：平成15年11月8日(土) 午後2時から(約60分)

講師：高橋幸次(日本大学芸術学部教授)

聴講者数：40名

日時：平成15年11月22日(土) 午後2時から(約60分)

講師：木田拓也(工芸課研究員)

聴講者数：40名

「あかりのできるまで」

日時：平成15年11月29日(土) 午後2時から(約60分)

講師：広井力(東京学芸大学名誉教授、彫刻家)

聴講者数：50名

日時：平成15年12月20日(土) 午後2時から(約60分)

講師：北村仁美(工芸課研究員)

聴講者数：40名

◆「近代工芸の百年」展 ギャラリートーク

「明治の技巧」

日時：平成15年12月13日(土) 午後2時から(約60分)

講師：北村仁美(工芸課研究員)

聴講者数：8名

「染織とファイバー」

日時：平成15年12月21日(日)午後2時から(約60分)

講師：今井陽子(工芸課主任研究官)

聴講者数：13名

「民芸とモダニズム」

日時：平成15年12月27日(土)午後2時から(約60分)

講師：木田拓也(工芸課研究員)

聴講者数：9名

「人間国宝の誕生」

日時：平成16年1月3日(土)午後2時から(約60分)

講師：諸山正則(工芸課主任研究官)

聴講者数：38名

「現代の工芸」

日時：平成16年1月10日(土)午後2時から(約60分)

講師：富田康子(工芸課客員研究員)

聴講者数：22名

「やきものの百年」

日時：平成16年1月17日(土)午後2時から(約60分)

講師：唐澤昌宏(工芸課主任研究官)

聴講者数：28名

「近代工芸の百年」

日時：平成16年1月24日(土)午後2時から(約60分)

講師：金子賢治(工芸課長)

聴講者数：54名

◆「近代工芸の名品一花」展 ギャラリートーク

日時：平成16年2月14日(土)午後2時から(約60分)

講師：今井陽子(工芸課主任研究官)

聴講者数：17名

日時：平成16年2月21日(土)午後2時から(約60分)

講師：木田拓也(工芸課研究員)

聴講者数：24名

日時：平成16年2月28日(土)午後2時から(約60分)

講師：富田康子(工芸課客員研究員)

聴講者数：21名

日時：平成16年3月6日(土)午後2時から(約60分)

講師：唐澤昌宏(工芸課主任研究官)

聴講者数：15名

日時：平成16年3月13日(土)午後2時から(約60分)

講師：諸山正則(工芸課主任研究官)

聴講者数：25名

日時：平成16年3月27日(土)午後2時から(約60分)

講師：北村仁美(工芸課研究員)

聴講者数：46名

1-4 大学等との連携

1-4-1 本館

■博物館実習

当館の「博物館実習受入要項」に基づき、次の大学から8名の実習生を受入れた。

跡見学園女子大学、実践女子大学、多摩美術大学、東京造形大学、千葉大学、日本大学、日本女子大学、武蔵野美術大学

実習内容

概要や講義のほか、来館者と作品を繋ぐ橋渡しとしての役割を学んでもらうため、所蔵品から各自1作品を選び、模擬ギャラリートークの課題を盛り込んだ。なお、実習生には事前に実習内容を知らせ、館の提示した課題図書(『ギャラリーガイド 近代日本美術のあゆみ』東京国立近代美術館)の通読を課した。

実習日程

- 8月25日 ガイダンス/当館の概要・理念/企画課の仕事(展覧会について)/企画渉外係の仕事、ブレーブワーク「展覧会ができるまで」
- 8月26日 教育普及係の仕事・課題説明/MOMAT ガイドスタッフによる所蔵品ガイド見学・ボランティアについて/情報資料係の仕事・アートライブ러리紹介・文献の調べ方
- 8月27日 美術課の仕事(コレクションについて)/展示係の仕事/絵画彫刻係の仕事・収蔵庫見学/トーク課題準備
- 8月28日 写真係の仕事/版画係の仕事・野見山暁治展解説/トーク課題準備
- 8月29日 トーク発表/総合ディスカッションとまとめ

■大学等の団体での来館者に対して、随時対応した。

- ・大学授業、学会への協力 8件11回(472名)

女子美術大学、東京造形大学、武蔵野美術大学、共立女子大学、南華大学興芸術管理研究所(台湾)、日本女子体育大学、バンタンデザイン研究所、日本色彩学会

- ・生涯学習施設等への協力 6件8回(175名)

河田美術鑑賞会、NPO 法人ふれあい塾あびこ、名画鑑賞会クラッセ・テ・ミルド、江東区森下文化センター、多摩美術大学生涯学習センター、群馬県伊勢崎市立図書館老人会

■大学等との協力のもとに講演会を実施

開催日 9月23日

開催場所 本館講堂

参加者数 122名

事業内容：学習院大学との協議のもと、同大学が招聘したチューリヒ大学講師ヴォルフガング・ケルステン氏による当館所蔵品(パウル・クレー作《花ひらく木をめぐる抽象》)をテーマにした講演会を、日本パウル・クレー協会との共催(スイス大使館後援)で行った。

■博物館実習

当館の「博物館実習受入要項」に基づき、次の大学から4名の実習生を受け入れた。

日本大学芸術学部、金沢美術工芸大学美術工芸学部、武蔵野美術大学造形学部、東京工芸大学芸術学部

実習内容

概要や講義のほか、各工芸素材の取り扱いに重点をおいて実習を行った。

実習日程

- 8月21日 ガイダンス・課題説明/館概要/教育・普及の仕事/作品の収集と管理/実習(陶磁作品の取り扱い)
- 8月22日 実習(陶磁・金作品の取り扱い)
- 8月25日 展示企画の仕事/見学・実習(作品の写真撮影)/実習(木作品の取り扱い)/作品の保存と修復
- 8月26日 見学(作品の貸借について)/美術館における書籍や資料について/実習(染織作品の取り扱い)
- 8月27日 実習(漆作品に取り扱い)/ディスカッション

■大学等の団体での来館者に対して、随時対応。

大学2件(51名)

校外授業として作品熟覧を行った。

1-5 ボランティア

1-5-1 本館

■所蔵作品解説ボランティア「MOMATガイドスタッフ」の活動

平成14年秋に公募し、審査を経て研修生となった20名への約6ヶ月全10回の養成研修を5月10日に修了した。MOMATガイドスタッフとして登録(期間2年)したのは次の20名。

赤松千佳、阿部文子、安斉紀子、池端伸浩、井澤由利子、石川俊雄、伊藤睦子、岩瀬健二、大内久美子、大久保豪、小倉優子、金成圭章、木村さとみ、米栖正和、妹尾喜久子、富山美智子、中嶋壽子、林美佐子、平野美沙子、弘中智子

■MOMATガイドスタッフによる所蔵品ガイド

登録人数:20名

期間:平成15年5月23日-平成16年3月31日

回数:248回

参加者総計:3023名/1回平均:12.1名

(内訳)

会期1 52回/602名/平均11.6名

会期2 59回/1076名/平均18.2名

会期3 70回/672名/平均9.6名

会期4 44回/475名/平均10.8名

会期5 23回/198名/平均8.6名

活動内容:開館日の毎日午後2時より(12月までは午後2時30分開始)約1時間、来館者との対話を交えながら、所蔵作品についてのギャラリートークを行った。また、一般客向けのものとは別に「夏休み!こども美術館」、「春休み!こども美術館」として、小中学生を対象とするギャラリートークなどを計12回、36グループに対して実施した。常設展が替わるたびに例会を開催(年間5回)し、展示替えについて研究員による講義を受け、研究員による所蔵品ガイドに参加するほか、その時々の問題点等について協議しながら、ギャラリートーク・プログラムを運営してきた。また、活動開始前の研修(平成14年12月21日-平成15年5月10日)を補うものとして、平成15年度は当館研究員による「日本画の技法について」の補講を行ったほか、「春休み!こども美術館」の開始に備えて、館外講師2名(中央区立坂本小学校教諭・岸本雅行氏、坂戸市立浅羽野中学校教諭・武藤篤美氏)による「こどもの発達と鑑賞」と題したフォローアップ研修を実施した。

*生涯学習施設等への対応(所蔵品解説)に協力した。(3件)



工芸館では、ボランティア募集に際し、通例のギャラリーガイドのほか、触知によって工芸の素材や技法の持ち味を体感するコーナーの新設を決め、両者を活動の2本柱とすることを告知した。これにより、20名前後の募集に対して200余名の応募があり、工芸作品に対する関心の高さが窺われた。研修は工芸の近代史とギャラリーガイドの実践的な修得を中心に行い、一方で、来館者と作品との間の架け橋となるガイドとしての意識作りに力を注いだ。

触知による鑑賞を促すコーナーの新設は、これまでアンケート等で寄せられた来館者の要望に応えるべく検討されたものだが、研修生の興味もまずは「何で」「どのように」作るのかから始まり、次第に工芸独自の造形性や作者の内面、時代意識など、より高度な鑑賞を可能とするようになっている。研修期間を通じてガイドスタッフが個々に獲得した工芸作品への視点は、参加者が本を読むのとは異なった鑑賞の楽しみを感じ取るための一助となるものと期待している。

2 刊行物 Publications

2-1 企画展覧会カタログ

2-1-1 本館



牛腸茂雄展

21×18cm / 63p

本文:

同時代の中の牛腸茂雄(増田 玲)

図版

牛腸茂雄の言葉

年譜

Shigeo Gocho in the Context of the Age He Lived in (Rei Masuda)

展示作品リスト

編集:増田 玲/保坂健二郎

翻訳:小川紀久子/山本仁志

デザイン:笠原香苗

制作:コギト

発行:東京国立近代美術館 ©2003



地平線の夢—昭和10年代の幻想絵画

28×22cm / 149p

本文:

地平線の夢 序論(大谷省吾)

Dreams of the Horizon — Introduction (Shogo Ohtani)

Commentaries on the Sections (Shogo Ohtani)

図版

第1章 物語る絵画

第2章 古代への憧憬

第3章 大陸の昼気楼

第4章 画学生たちの心象風景

作家・作品解説

関連年表

昭和戦前期におけるサルヴァドール・ダリ紹介文献一覧

出品作品リスト

編集:大谷省吾

翻訳:小川紀久子

制作:エティタス

発行:東京国立近代美術館 ©2003



野見山暁治展

29×22.5cm / 161p

本文:

野見山暁治の「絵画」—降りてくる空(市川政憲)

野見山暁治—生成する絵画(都築千重子)

図版

第1章 ボタ山の再発見—自然と人工のせめぎあい

第2章 ヨーロッパ—日本 かたちへのとまどい

第3章 空、海、風—うつろう自然と向き合って

出品目録

野見山暁治年譜

主要参考文献

The "Paintings" by Gyoji Nomiya — The Descent of the Sky (Masanori Ichikawa)

Gyoji Nomiya and His Generating Paintings (Chieko Tsuzuki)

Commentaries on the Sections

編集:東京国立近代美術館(都築千重子/鈴木勝雄)/愛知県美術館(市川政憲)/日本経済新聞社

翻訳:小川紀久子、山本仁志

表紙 デザイン:上條スタジオ

制作:エティタス

発行:日本経済新聞社

©2003 東京国立近代美術館、日本経済新聞社



旅—「ここではないどこか」を生きるための10のレッスン
13×10cm / 185p

本文：

旅—「ここではないどこか」を生きるために(蔵屋美香)

図版

ジョゼフ・コーネル
ペーター・フィッシュリ & ダヴィッド・ヴァイス
雄川 愛
大岩オスカル幸男
小野 博
瀧口修造
エリック・ファン・リースハウト
ビル・ヴィオラ
渡辺 剛
安井仲治

「旅」をめぐるキーワード+作家解説

作品リスト

カタログ制作 編集担当：蔵屋美香/保坂健二郎

翻訳：小川紀久子

アート・ディレクション&デザイン：山田拓矢/有吉陽子

編集：東京国立近代美術館

印刷：大日本印刷株式会社

発行：東京国立近代美術館 ©2003



ヨハネス・イッテン—造形芸術への道

26×18cm / 347p

本文：

ヨハネス・イッテン 橋の架設者(マティアス・フレーナー)

生成の根源へ—「ヨハネス・イッテン 造形芸術への道」展に寄せて(向井周太郎)

第Ⅰ部—造形芸術への道(ドロレス・デナーロ/石川潤 編・訳)

第Ⅱ部—ヨハネス・イッテンの世界

ヨハネス・イッテン—その生涯とアルバム

第Ⅲ部—ヨハネス・イッテンと日本

ヨハネス・イッテンと日本(山野英嗣)

ヨハネス・イッテンの時代と日本の美術教育

文献・展覧会歴

出品リスト

日本展構成・編集：山野英嗣(京都国立近代美術館)

執筆：ドロレス・デナーロ(バスク・アートセンター)/向井周太郎/石川 潤(宇都宮美術館)/山野

英嗣/山野てるひ(園田学園女子大学短期大学部)

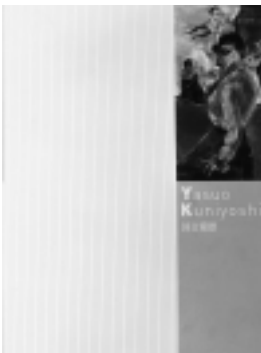
翻訳：石川 潤/西村美絵子/山野英嗣

デザイン：西岡 勉

印刷：株式会社便利堂

発行：京都国立近代美術館

©2003 京都国立近代美術館



国吉康雄展

24.5×18.5cm / 205p

本文：

国吉康雄の芸術—内なる国境(市川政憲)

国吉康雄の不思議な空間(蔵屋美香)

カタログ

第1章 いのちの海岸

第2章 社会の荒海

第3章 いのちの鳥の建設

年譜(高橋秀治 編)

日本語文献(小澤律子 編)

Bibliography (Compiled by Ritsuko T. Ozawa)

The Art of Yasuo Kuniyoshi — The Inner Borders (Masanori Ichikawa)

The Wondrous Space Created by Yasuo Kuniyoshi (Mika Kuraya)

Commentaries on the Chapters

1. The Shore of Life
2. The Rough Sea of the Society
3. The Construction of an Island of Life

出品リスト

List of Exhibits

カタログ編集担当：蔵屋美香・尾崎正明（東京国立近代美術館）

翻訳：小川紀久子/勝矢桂子

デザイン：香村秀樹（NCP）

編集：東京国立近代美術館/富山県立近代美術館/愛知県美術館

印刷：日本写真印刷株式会社

発行：東京国立近代美術館/富山県立近代美術館/愛知県美術館/NHK/NHKプロモーション
©2004

2-1-2 工芸館



オーストラリア現代工芸3人展：未知のかたちを求めて
28×22.5cm / 24p

本文：

序文(ジャニス・ラリー)

図版：

キャサリン・トルーマン/ロビン・ベスト/スー・ロレン

作品リスト

編集：金子賢治/木田拓也/富田康子

翻訳：木田拓也/富田康子/山本仁志

写真撮影：グラント・ハンコック

制作：印象社

発行：東京国立近代美術館 ©2003



三代藍堂 宮田宏平展—金属造形の先駆け
29×22.5cm / 184p

本文：

三代宮田藍堂の鑄金工芸—変わらぬものへの共鳴—(樋田豊次郎)

左 渡瀬型鑄金の系譜—初代本間琢斎から三代藍堂・宮田宏平まで—(小見秀男)

図版：

1- 作品

2- アクセサリー、オブジェ

作品解説

～内なる美～宮田宏平アクセサリー・オブジェについての聞き書き(小西珠緒編)

年譜

参考文献

出品目録

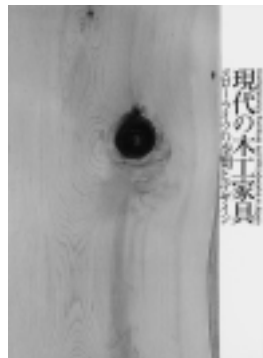
編集：新潟県立近代美術館 小西珠緒/宮崎俊英/小見秀男

東京国立近代美術館 金子賢治/北村仁美

翻訳：勝矢桂子/ルーシー・S・マクレリー

制作：株式会社 第一印刷所

発行：新潟県立近代美術館/東京国立近代美術館 ©2003



現代の木工家具—スローライフの空間とデザイン
29.7×21.3 cm / 84p

本文：

家具という新たな造形表現と工房家具(諸山正則)

図版：

早川謙之輔/小島伸吾/谷進一郎/中村好文/高橋三太郎/村上富朗/徳永順男/

富田文隆/須田賢司

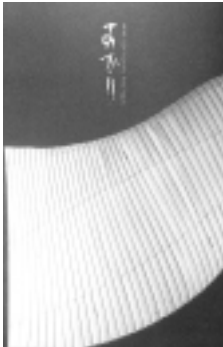
出品作品一覧

編集：金子賢治/諸山正則/唐澤昌宏

翻訳：山本仁志/ギャビン・フルー

制作：アイメックス・ファインアート

発行：東京国立近代美術館 ©2003



あかり: イサム・ノグチが作った光の彫刻

29.6 × 19.6 cm / 68p

本文:

あかり—イサム・ノグチが作った光の彫刻 (木田拓也)

図版

関連年表

出品作品リスト

編集: 金子賢治/木田拓也/北村仁美

翻訳: 高山シンシア/山本仁志

デザイン: 桑畑吉伸

制作: アイメックス・ファインアート

発行: 東京国立近代美術館 ©2003

2-2 巡回展カタログ



受容と発展 花ひらく近代洋画

26 × 19cm / 87p

本文:

「洋画」と今日(中林和雄)

i. 個性の芽生え

ii. 美術の実験

iii. 洋画の成熟

iv. 日本の外と内

v. 時代と美術

作家・作品解説

関連年表

出品目録

編集: 東京国立近代美術館/丸亀市猪熊弦一郎現代美術館/財団法人ミモカ美術振興財団

発行: 東京国立近代美術館/丸亀市猪熊弦一郎現代美術館/財団法人ミモカ美術振興財団

レイアウト: 文京図案室

印刷: 平和写真印刷株式会社

©東京国立近代美術館、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、財団法人ミモカ美術振興財団

2004

2-3 目録・ガイド等

2-3-1 本館

近代日本の美術 会場案内

21 × 14.8cm (二つ折)

地平線の夢—昭和10年代の幻想絵画 Floor Guide

21 × 10cm (三つ折)

野見山峯治展 Floor Guide

21 × 14.8cm (二つ折)

旅—「ここではないどこか」を生きるための10のレッスン 会場ガイド

9.4 × 12.4cm (四つ折)

ガイド: 蔵屋美香

ヨハネス・イッテン—造形芸術への道 フロアプラン

14 × 12cm / 12p

イッテンの「造形芸術への道」をめぐる21のキーワード

色彩論

造形論/形態論

編集: 保坂健二郎

執筆: 松本 透/保坂健二郎

デザイン: 有吉陽子

印刷: 大日本印刷株式会社

発行: 東京国立近代美術館 ©2004





近代日本の美術 会場案内[フランス語版・ドイツ語版・中国語版・韓国語版]
各9.2×23cm (四つ折)

国吉康雄展 FLOOR GUIDE

12.9×18.2cm

フロアマップ

用語解説

国吉康雄展 こどもセルフガイド

21×10cm (六つ折)

執筆：一條彰子/白濱恵里子/蔵屋美香

発行：東京国立近代美術館NHK ©2004

制作：日本写真印刷株式会社

東京国立近代美術館所蔵品目録 絵画

29.2×25cm / 228p

日本画

油彩 その他

国内作家

海外作家

索引

全図図版

発行：東京国立近代美術館©2004

制作：エディタス

2-3-2 工芸館

オーストラリア現代工芸3人展：未知のかたちを求めて

同時開催 所蔵作品展 近代工芸の名作—友禪と型染 フロア・ガイド

29.7×21 cm

会場図面

作家略歴

用語解説

所蔵作品展 近代工芸の百年 フロアガイド

29.7×21 cm

会場図面

展示テーマ解説

工芸の近代—「工芸再評価」の論議をめぐる1990's以後の素描(富田康子)

三代藍堂 宮田宏平展—金属造形の先駆け こどもセルフガイド・スタンプカード(たんけん!こども工芸館 三代らんどう・ゆびわ物語)

20×14cm / 10p (リング止め)

印刷：三和プリンティング

編集・発行：東京国立近代美術館

鑑賞カード

15×14 cm / 全12枚(表：カラー図版、裏：解説)

藤田喬平《虹彩》1964年

北原千麿《双魚衝立》1932年

富本憲吉《白磁八角蓋付壺》1932年

河井寛次郎《花鳥図壺》1926年頃

木村雨山《一越縮緬地 花鳥文訪問着》1934年

初代宮川香山《鳩桜花図高浮彫花瓶》1871-82年頃

高橋禎彦《ARC》1993年

深見陶治《遙カノ景〈望〉》1993年

熊倉順吉《力つきて》1969年

森正洋《G型しょうゆぎし》1958年

八木一夫《黒陶 環》1967年

喜多川平朗《紅地鳥蝶唐花文鑑》1960年

デザイン：斎城卓

印刷：三和プリンティング

編集・発行：東京国立近代美術館

『平成14年度東京国立近代美術館年報』訂正

『平成14年度東京国立近代美術館年報』内、I2「刊行物」内、I2-3「目録・ガイド等」内、I2-3-2「工芸館」に下記刊行物が追加されます。

東京国立近代美術館所蔵品目録 工芸

28.0×21.5cm / 336p

序

工芸目録:

陶磁

ガラス

漆工

木工

竹工

染織

人形

金工

その他の工芸

工芸資料

索引

編集: 金子賢治/諸山正則/唐澤昌宏/今井陽子/木田拓也/北村仁美/富田康子

制作: 印象社

発行: 東京国立近代美術館 ©2003

東京国立近代美術館所蔵品目録 デザイン

28.0×21.5cm / 140p

序

デザイン目録:

工業デザイン

グラフィック・デザイン

索引

編集: 金子賢治/諸山正則/唐澤昌宏/今井陽子/木田拓也/北村仁美/富田康子

制作: 印象社

発行: 東京国立近代美術館 ©2003

2-4 研究紀要・年報等

東京国立近代美術館研究紀要 第8号

24×18.3cm / 103p

石黒宗麿研究(金子賢治)

自然の探訪者—明治30年代の雑誌「メデア」と風景(鈴木勝雄)

松田権六資料の基礎的研究—手帳を中心として(北村仁美)

20世紀前半の絵画における文字(1): パウル・クレー(三輪健仁)

発行所: 東京国立近代美術館

制作: 印象社

平成14年 東京国立近代美術館年報

25.6×18.3cm / 166p

〈美術・工芸部門〉

I 作品収集・修理等 / II 公衆への観覧 / III 調査・研究 / IV 普及・広報

〈映画部門〉

I 作品収集・復元等 / II 公衆への観覧 / III 調査・研究 / IV 普及・広報

〈記録〉

発行: 独立行政法人国立美術館 東京国立近代美術館

制作: エディタス



現代の眼

No.539 4-5月号

特集1：牛腸茂雄 / 特集2：オーストラリア現代工芸3人展：未知のかたちを求めて
牛腸茂雄の眼差しに潜むもの◆佐藤 真

写真のスタンダード—「牛腸茂雄」という記憶◆柳本尚規

オーストラリア陶芸の新しい動向◆高 満津子

石炭の塊の美しさ◆ケビン・マレイ

ライト・ブラック—科学の魅力の回復◆バメラ・ゼプリン

[連載18]東京国立近代美術館の半世紀◆蔵屋美香



No.540 6-7月号

特集1：地平線の夢—昭和10年代の幻想絵画 / 特集2：三代藍堂 宮田宏平展—金属造形の先駆け

昭和10年代の古代憧憬◆小林俊介

昭和戦前期の浪漫主義的絵画について◆土方明司

終わりのない物語—水平線の彼方へ◆松原龍一

宮田藍堂さんのこと◆山根基世

[小企画展]「美術と音楽」によせて◆古田 亮

[連載19]東京国立近代美術館の半世紀◆蔵屋美香



No.541 8-9月号

特集1：野見山暁治 / 特集2：現代の木工家具

覚書—野見山暁治展に寄せて◆牧野研一郎

ある日の先生◆上葛明広

木工の四十年◆早川謙之輔

「現代の木工家具」展に際し、家具 デザイン 雑感◆長 大作

[作品研究]人形の虚実—平田郷陽の制作◆今井陽子

[連載20]東京国立近代美術館の半世紀◆一條彰子



No.542 10-11月号

特集1：旅—「ここではないどこか」を生きるための10のレッスン / 特集2：あかり：イサム・ノグチが作った光の彫刻

二重露光の旅の途上で トラヴェ シーア、エクソダス、ヴァイタル◆今福龍太

リパティ・パスポート◆巖谷國士

《大地の彫刻》と《あかり》◆川村純一

永遠に光り輝く《あかり》◆尾関秀太郎

[作品研究]河本五郎—挑戦と反逆の造形◆唐澤昌宏

[教育普及レポート]夏休み!こども美術館◆一條彰子



No.543 12-1月号

特集：ヨハネス・イッテン—造形芸術への道

ヨハネス・イッテンの造形探求◆山野英嗣

生成の根源へ—イッテンの造形世界◆向井周太郎

[座談会]「所蔵作品展 近代工芸の百年」によせて 「工芸」再読の意味◆富田康子

[講演会報告]野見山暁治「自作を語る」

[講演会報告]《花ひらく木をめぐる抽象》—パウル・クレーの反復の芸術—

[作品研究]麦穂の庭—土田麦穂《舞妓林泉》について◆中村麗子



No.544 2-3月号

特集：国吉康雄—ふたつの世界の間で

国籍を超えた画家 国吉康雄◆巖谷 要

ヘンリー・マクブライド—ある美術批評家の国吉観の変遷 1922年から35年まで◆ハート・ウィンザー＝タマキ

[所蔵作品展]「近代工芸の名品—花」によせて…“花”三態◆諸山正則

[教育普及レポート]来館者とともに見る・考える—MOMATガイドスタッフによる所蔵品ガイド

[作品研究]杉田禾堂《用途を指示せぬ美の創案 原始期・過渡期・完成期》について◆木田拓也

[連載21]東京国立近代美術館の半世紀◆金子賢治



3 広報

3-1 広報

3-1-1 本館

■マスメディア関係

年間スケジュール、プレスリリース(展覧会ごとに、内容を紹介する資料(A4判、フルカラー、3～8P))と記者内見会(原則展覧会開催日の前日に開催)の案内を作成、新聞社・雑誌社・テレビ局・ウェブサイト管理会社・ライター等マスメディア関係約490件に配布。展覧会紹介、美術館紹介に関する取材、撮影、資料提供に随時対応。

■美術関係機関

年間スケジュールのほか、展覧会ごとのポスター、チラシを、美術館・美術学校・ギャラリー等約1,200件に送付(都内・関東近県の主要な国公立美術館など約60館にはチラシを交換送付)。

■学校関係

年間スケジュールを小中高等学校約2,900件に送付。

■その他の施設

年間スケジュール、チラシ、ポスターをホテル・観光協会等約150件に送付。展覧会に応じて、美術・文化関係で定評のある大型書店や飲食店・レコード店等に、チラシや割引券付フライヤー(葉書型、葉型、切符型)の配布、PR誌上での展覧会紹介等の協力を得ている。

■交通広告

展覧会ごとにJR、地下鉄、私鉄等でポスターを掲出。

■ホームページなど

ホームページを一新。日替情報、講演会・トークなどのイベント情報、所蔵作品展の出品リストなど掲出し、利便性を図っている。また展覧会ごとのページでは会場風景や作品図版を紹介、割引券の機能ももたせた。平成15年8月には月刊のメールマガジンを創刊し、展示作品や展示予告など、来館者のニーズに対して、美術館の側から積極的に配信している。

3-1-2 工芸館

工芸館では、3-1-1「本館」に掲げる活動に加え、次の3誌に所蔵品を取り上げた連載を行っている。

- ア. 「近代工芸の名作」『月刊チャイム銀座』(発行:株式会社和光)
その月の展覧会出品作の中から一点を選び、その見所、歴史的意義、作家のプロフィールなどを解説。
- イ. 「細部の真実 東京国立近代美術館工芸館所蔵品より」『茶道誌淡交』(発行:株式会社淡交社)
所蔵品の中から一点を選び、その全図と拡大写真を比較掲載し、細部の

造りがいかに全体の印象と違うか、また細部がいかに作品全体を構成しているかを解説。

「古典が息づく現代の工芸 東京国立近代美術館工芸館所蔵品より」『茶道誌淡交』（発行：株式会社淡交社）

所蔵品の中から一点を選び、古典がどのように生かされて現代の作品制作と結びついているかを解説。

ウ、「日本の至宝 東京国立近代美術館コレクションより」『TAIKI』（発行：株式会社リベロ）

所蔵品の中から名品を一点選び、その見所、歴史的意義、作家のプロフィールなどを解説。

また、次の2誌に情報を提供し、各号で展覧会広報を行っている。

ア、「展覧会情報」『CLUB』（発行：株式会社伊勢丹）

在日外国人に対する展覧会情報の提供。

イ、「私だけが知っている人間国宝 泣きっ面 ふくれっ面 笑い声」『婦人画報』（発行：アシェット婦人画報社）

展覧会に出品している人間国宝のエピソードを親しい関係者から取材、紹介し、あわせて展覧会情報を提供。

3-2 美術館情報システムによる普及・広報

下記日誌の通り、平成7年度より、国立情報学研究所による学術情報ネットワーク(sinet)を介し、インターネット上に東京国立近代美術館ホームページ(URL = <http://www.momat.go.jp/>)を開設しており、平成15年度も各種展覧会、上映会、講演会などの催事情報の提供につとめた。10月には、トップページほかのデザインを一新するとともに、日替わり情報を掲載して、迅速かつ最新情報の提供が可能となった。本年度は、メールマガジンを8月に創刊し、8号刊行して、約1,000名の登録者を得ている。

平成13年6月、独立行政法人国立美術館ホームページ(URL = <http://www.momat.go.jp/IAINMoA/index.html>)を開設しているが、平成14年度10月より、「法人文書ファイル管理システム」を整備し、独立行政法人国立美術館に関する情報を広く公開することにつとめていることは、従来どおり変わりはない。

美術館のリニューアル・オープンとともに、3階に設けられた情報コーナーにおいて、館内来館者システムの端末を3台設置し、実運用に入るとともに、著作権者からの許諾を得て、閲覧可能画像の増加につとめている。

主な日誌：

平成7年9月	学術情報ネットワーク(sinet)接続 東京国立近代美術館＝東京大学大型計算機センター 64Kbps専用線
平成7年10月	東京国立近代美術館ホームページ開設 (http://www.momat.go.jp/)
平成8年6月	「インターネット版展覧会カタログ」として、「岸田劉生 所蔵作品と資料の展示」のカタログの抜粋(カラー図版のページ)を掲載

平成8年9月	来館者向け情報提供端末を本館4階ロビーに1台設置
平成9年8月	「小・中学生のための鑑賞教室」を追加
平成9年10月	来館者向け情報提供端末を工芸館2階に1台設置
平成9年12月	新しい所蔵作品検索サービスをインターネットホームページに公開
平成10年8月	英文版ホームページを追加
平成13年12月	美術館のリニューアル・オープンのお知らせのページを追加
平成13年6月	独立行政法人国立美術館ホームページ (URL = http://www.momat.go.jp/IAINMoA/index.html) を開設
平成13年10月	東京国立近代美術館＝東京大学情報基盤センター 1.5Mbps専用線
平成14年3月	工芸館のページにバリアフリー設備についての案内を追加
平成14年3月	ホームページでの所蔵作品検索システムを更新
平成14年10月	独立行政法人国立美術館「法人文書ファイル管理システム」を公開
平成15年1月	所蔵図書資料の検索OPAC (Online Public Access Catalog) を公開
平成15年8月	東京国立近代美術館メールマガジンを創刊
平成15年10月	トップページデザインを更新し、以後、日替わり情報を日次更新で掲載
平成16年3月	東京都現代美術館美術図書室、横浜美術館美術図書室書との横断検索を公開

ホームページ上での公開・提供情報は、概略、次のような構成からなっている。
東京国立近代美術館ホームページの主な構成：

- トピックス
- 美術館
- 工芸館
- フィルムセンター
- イベント
- 解説ボランティア
- こどものページ
- ライブラリ
- 情報検索
- リンク
- 出版物
- 利用案内
- 交通案内
- 採用情報
- お問合せ先